



一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2025（令和 7）年 12 月 19 日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地 3-15-9（アルテビル那覇 2F） 電話（098）861-2180

各位

景気ウォッチャー11月調査

沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、11月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 観光客の増加などにより観光需要が好調であったことから現状判断 DI 値は「55.7」と好況。
2. 中国の渡航自粛による影響はあるものの、観光客の増加や年末年始の需要増加への期待が大きいことから、2～3 か月先の先行き判断 DI 値は「58.2」と好況の見通し。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2025 年 11 月調査」をご覧ください。

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：島袋

問い合わせ先：電話 098-861-2180（ファクシミリ 098-869-0661）

E-mail shimabukuro-y@niac.or.jp

報道各社

内閣府において、公表された 2025(令和 7)年 11 月
「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、弊財団
にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめましたので、
皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

景気ウォッチャー11月調査（季節調整値） 沖縄地域の結果

●沖縄地域の 11 月調査結果 概要

11 月調査の結果によると、現状判断 DI 値は前月から 1.3 ポイント増加の 55.7 と 8 ヶ月連続で景気判断基準値の 50 を上回っており、好況が続いております。

県内需要は、家電量販店やコンビニなどで落ち込みがみられています。家電量販店では、キャンペーン終了や気温の低下、コンビニでは値上が影響しています。一方、百貨店は 11 月から平均気温の低下により、秋冬衣料品の販売量が増えています。業種ごとに違いはありますが、県内需要に大きな変化はみられていません。

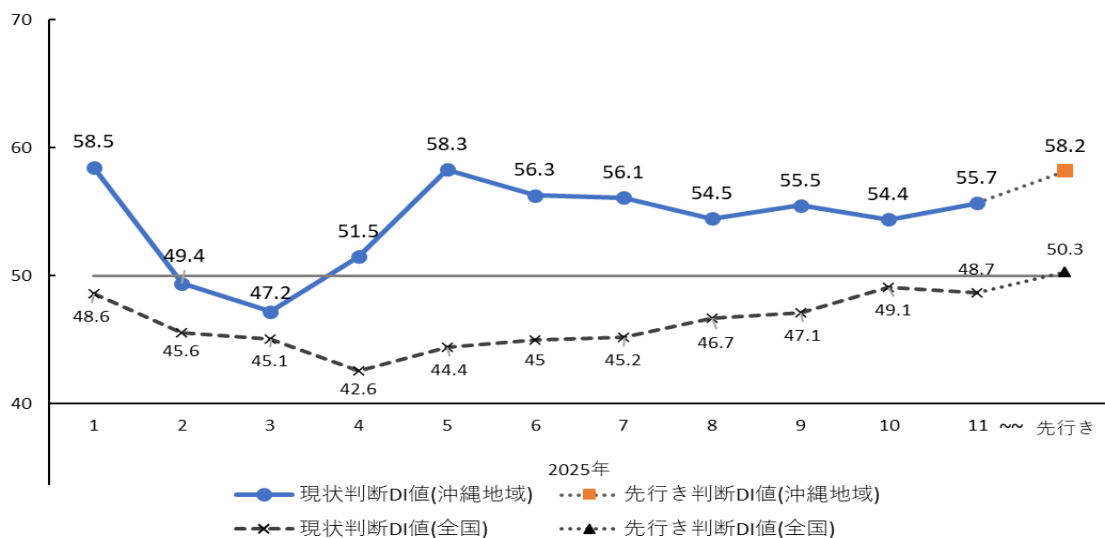
また、土産品店では国内や海外からの観光客が増加しており、観光名所ではインバウンドを中心に料飲の購入単価が上がっていることから観光需要は好調です。

先行き判断 DI 値は前月より 2.3 ポイント減少の 58.2 となりましたが、景気判断基準の 50 を上回り、2～3 か月先も好況とみています。

中国の渡航自粛の影響により、クルーズ船の寄港取止めなど、中国人観光客の減少が懸念されています。一方、全体的に観光客の増加や年末年始に向けた県内需要の増加による期待の方が大きいこともあり、好況が続くものとみられます。

12 月から最低賃金が引上げられたことで、県民の消費が拡大し、県内需要が少しでも増加することを期待しています。一方、企業側にとっては最低賃金の引き上げは人件費の高騰になることから、雇用への影響も懸念が残ります。これまで人手不足が続いていましたが、求人数の減少もみられることから、今後も減少が続くのか、一時的なものか、注視します。

図 沖縄地域と全国の現状判断 DI 値の推移と先行き判断 DI 値（季節調整値）



出典：内閣府「景気ウォッチャー調査」より NIAC 作成

※「先行き判断 DI 値」は、調査月から 2～3 か月先の景気の見通し。